

資料 1

日時 平成29年10月17日

午後7時～

場所 園コミュニティセンター

H 2 9
園 地 区



市長のまちづくり
ふれあいトーク

事務担当

〒935-8686（住所記載不要）

氷見市 企画政策課 広報広聴担当

Tel74-8012 Fax74-8062

E-mail:kouhou@city.himi.lg.jp

昨年度のふれあいトークの 対応状況について

■ 昨年度のふれあいトークでの対応状況について

3

29まちづくり
ふれあいトーク

対応済

243-H29版分かりやすい予算書
346-商工業の発展
347-ウォーキング大会開催

29年度内

247-市道環状南線の樹木剪定等
350-民生委員と自治会の連携

可能

30年度以降

249,344-新文化施設整備
250,354-漁業文化交流センターの活用

未定

352-サロン立ち上げ

参考意見

251-防災行政無線の音楽、252-警察の前にバス停、348-氷見の幸せ
349-高齢者の移動対策、351-安全な生活を啓発する寸劇
353-民児協と学童の連携

市政の概要

「住みたい街」・「働きたい街」・「育てたい街」の
3つの氷見元気プロジェクト

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～

II 働きたい街
～働く場所の創出で元気な氷見市へ～

III 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ①

拡充

グランドデザイン調査検討事業

予算額: 954.2万円



JR氷見駅からひみ番屋街まで、市街地全体のグランドデザインを描き、観光客誘致、防災、文化情報発信など、4つの公共空地の利活用方針の策定及び漁業文化交流センターの活用について検討します。

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ②

新規

都市計画再構築事業 (都市計画マスタープランの見直し等)

予算額: 1,341.6万円

既存の都市計画マスタープラン(平成17年作成)を見直し、まちづくりの目標や数値指標を達成するために必要な事業を記載した都市再生整備計画を作成します。

※都市計画マスタープランとは…

地域の特性を踏まえたまちの将来像やまちづくりの方針等を具体的に示し、無秩序な開発の抑制や適切な土地利用の誘導など計画的な都市の形成を図るために定めるものです。

I 住みたい街 ～いのちとくらしを守る～ ③

新規

地域活力施設整備支援事業

予算額: 1,000万円



自治会が自主的、主体的に実施する小規模な道路・水路や公園などの社会資本の整備等についての必要な経費を補助します。

I 住みたい街 ～いのちとくらしを守る～ ④

新規

がんセンター整備予定地での埋蔵文化財
試掘調査費【病院事業会計】

予算額: 360万円



金沢医科大学氷見市民病院でのPET-CT導入によるがんセンター整備に向け、埋蔵文化財試掘調査を行います。

I 住みたい街 ～いのちとくらしを守る～ ⑤

[その他主な事業]

※金額は予算額

新規

ぶり奨学プログラム事業 175.1万円
(ぶり奨学交流事業の開催)

拡充

防災対策事業 2,227.1万円
(防災ラジオの整備、津波ハザードマップの作成等)

拡充

鳥獣被害防止対策事業 1,411.7万円
(イノシシによる掘り起こし被害対策の調査研究等)

拡充

包括的支援事業【介護保険】 260.6万円
(生活支援コーディネーターの設置)

II 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ①

新規

世界農業遺産調査検討事業

予算額:572.3万円

400年の歴史を誇る定置網や、国指定天然記念物のイタセンパラと十二町潟のオニバスなど希少な動植物と共生する農業資産等について、日本農業遺産及び世界農業遺産の認定を受けるための準備に必要な調査・検討を行います。

Ⅱ 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ②

拡充

魚食文化リーディング事業

予算額:2,769.1万円



市内の食関連事業者(魚食だけでなく食関連全般を対象を拡大)の売上向上を目的として行う新商品の開発実験や販路拡大等を実施しています。

(国の地方創生推進交付金事業の活用)

Ⅱ 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ③

新規

漁業文化交流センター管理運営事業

(ひみ漁業交流館魚々座を改称)

予算額:1,115万円



氷見の伝統ある漁村文化を伝承・展示し、世界農業遺産の認定に向けた情報発信拠点として、氷見市漁業文化交流センターを平成29年7月14日から開館しています。

Ⅱ 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ④

[その他主な事業]

※金額は予算額

拡充

まんがのまちづくり推進事業 283.1万円
(潮風ギャラリー開館10周年記念イベントの開催)

拡充

観光広報強化事業 738.8万円
(テレビ番組や雑誌などのマスメディアでの発信強化)

継続

商店街賑わい創出事業 200.1万円
(商店街の賑わい創出に取り組む団体を支援や賑わいを支援するタウンマネジャーの招へい)

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ①

第2子保育料無料化関連予算

拡充

民間保育所等施設給付事業
予算額: 2,500. 7万円

多子世帯子育て支援事業
予算額: 345. 6万円



保育所や幼稚園、認定こども園に入所する1歳以上の第2子の保育料を7月から無料化しています。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ②

第2子保育料無料化関連予算

新規

家庭で子育て応援金給付事業

予算額:1,260万円



満1歳から満3歳になるまでの間、第2子以降の児童を保育所や認定こども園に預けずに、家庭で保育される世帯に対し、対象児童1人につき月額2万円の「家庭で子育て応援金」を支給します。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ③

拡充

放課後児童対策事業

予算額:186.8万円



学童保育の充実を図るため、氷見児童育成クラブ(いきいき元気館)における学童保育時間を22時まで延長しています。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ④

拡充

小中学校ICT環境整備事業

予算額:3,050.3万円



小学校・中学校の学習環境向上を図るため、全小中学校普通教室及び特別支援学級への電子黒板整備、及び全小中学校それぞれ1クラス分のタブレットパソコンを整備します。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ⑤

[その他主な事業]

※金額は予算額

新規

子どもの未来応援事業 413.5万円

(子どもやその家庭の実態調査及び子ども・子育て支援事業計画の改定)

新規

子どもほっとサロン事業 60万円

(「こども食堂」3か所への助成)

拡充

子育て世代包括支援センター(日本版ネウボラ)準備事業 286万円

新規

都市公園活性化事業 917.8万円

(氷見運動公園の長寿命化、再整備に向けた基本設計)

園地区の事業概要

■ 地区の工事箇所

4

29まちづくり
ふれあいトーク

実施 年度	工 事 名	工事 (業務) 場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額または 予算額(円)
H29	市道園7号線測量設計委託	園	H29.7.25	H29.10.20	1,285,200
H29	市道園7号線道路改良工事	園	H30.1月上旬	H30.3月下旬	4,800,000



実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 (円)	担当課	備考
H29	地域防災力向上支援事業	窪地区自主防災会の防災訓練に対する補助金	100,000	地域防災室	
H29	健康ウォーキング	地区住民を対象としたウォーキング教室を開催(3月)	5,000	健康課	
H29	健康教室	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行う。(8月27日)	5,000	健康課	
H29	子育て広場	地域の保育園を会場に年1回、未就園児とその家族を対象に健康教室を行い、家族ぐるみで健康づくりの実践ができるように働きかける。(7月5日、12月13日)	2,000	健康課	
H29	らくらくメニュー講座	乳幼児とその保護者を対象に教室を開催し、食習慣の改善を図る。(3月9日)	7,000	健康課	
H29	健康づくり料理教室	食生活改善推進員から住民へ生活習慣病予防の食事についての講習会を開催する。(8月27日)	10,000	健康課	
H29	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。(9月13日、9月20日)	4,200	健康課	

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 (円)	担当課	備考
H29	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。(9月27日)	3,000	健康課	
H29	健診PR活動	7～9月までがん検診をPRするための旗を地区に立て、がん検診の受診率向上を図る。	2,000	健康課	
H29	道路整備地域支援事業	道路側溝の整備(園地区)	499,800	建設課	
H29	多面的機能支払交付金(園)	農地保全活動(草刈り・泥上げ等) 農村環境保全活動(花壇の造成等)へ支援	823,700	農林畜産課	
H29	地域コミュニティ活性化事業	万葉歴史観・勝興寺を訪ねて	30,100	窪公民館	窪・柳田・園3地区
H29	地域コミュニティ活性化事業	教養講座の集い	24,100	窪公民館	窪・柳田・園3地区
H29	地域コミュニティ活性化事業	窪公民館まつり	25,400	窪公民館	窪・柳田・園3地区
H29	地域コミュニティ活性化事業	年忘れカラオケ大会	19,000	窪公民館	窪・柳田・園3地区

現地調査

- ・市道柳田西1号「中野安全ガラス」付近の
道路拡幅
- ・氷見運動公園野球場の裏口自転車道路の
並木の剪定
- ・園川の浚渫
- ・浦池の漏水

園地区事前要望

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
園川沿い市道、「中野安全ガラス」付近の道路拡幅をお願いします。 近年交通量も増え、安全確保の為に早急な対策をお願いします。	本路線は拡幅の要望をお聞きしており、近傍のスーパー等の利用者も多く、交通量も増加傾向にあると認識しています。 拡幅改良を行うためには、拡幅に必要な用地のご提供について地権者の方々のご理解とご協力が必要となりますので、引き続き地区の皆様にもご協力をお願いいたします。	建設課 市道整備担当: 宮下 74-8074
住宅隣接地、雑草の草刈の件 所有者の不在(所有者死亡の為)。相続者が市内に居なくて、現所有者の確認の制度化を要望します。	雑草が茂り迷惑な空き地は、ゴミの不法投棄を誘発し、風景、景観の悪化、火災、病害虫の原因となります。そのため、所有者が遠方に居住したり、所有者意識が乏しかったりして空き地が管理できておらず、近隣に住まいされてお困りの場合、市担当へご相談ください。 市から、所有者・管理者へ適正な管理を求める依頼をしています。	環境・交通防犯課 環境保全担当: 三島 74-8065

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
水見運動公園につながる自転車道路の並木がこもりすぎて見通しが悪いので、剪定してほしい。	市道万葉線の樹木については、年1回の剪定を実施しています。今年度は、6月に剪定を実施しており、不都合な箇所等がありましたら、ご連絡いただければ現地確認の上、随時対応を行います。	建設課 道の管理担当： 河端 30-7070
異常、超異常気象対策 光が丘区域住宅、水田冠水防止対策、検討実施要望。西条地域に50mm/Hの集中豪雨が2時間続くと住宅浸水約60戸、水田浸水約150,000㎡の冠水発生。(平成14年集中豪雨の災害発生時に、防止対策要望書を平成15年に市、県へ提出、現在未解決) 園川は長年川ざらいしたことがなく、土砂、異物がたまり流れが悪くなっている為、流域の冠水、浸水の一因である川底掘りざらいを検討してほしい。	今年度の7月豪雨の後、光が丘地域からの排水システムの再調査を行いました。調査の結果、当面の対策として、光が丘地域からの排水路の末端に緊急時には仮設ポンプを配置することにしました。 園川については、毎年浚渫を行っており、今年度中、園地内では地元からの要望箇所の浚渫を6月に実施しております。 現在も、流れが悪い場所があれば、浚渫の実施を検討しますのでご連絡ください。	建設課 治水・治山担当：梶澤 30-7071

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
自動車が大浦方面よりバイパス160号線へ向かう道で橋を通過する時、橋と道路の勾配、沈下(?)がある為、自動車(特にトラック)がバウンドし、ドスンと音がする。近所の家とその度に(?)近くの田んぼも段々、降下し沈んでいく。低くなってきている。田んぼは(20cm～)下がっています。 スピードの出しすぎです。または段差有りの看板を標示しては。アスファルトの補充、勾配を緩やかにするなど。	現地を確認したところ、周辺の地盤が全体的に沈下し、橋の部分だけが下がらず高い状態となっています。 平成30年度において、舗装のすりつけ等を行い、勾配を緩やかにしたいと考えています。	建設課 道の管理担当： 河端 30-7070

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
大浦パークゴルフ場の件について (1)新規オープン予定(年、月) (2)駐車場について サッカー、テニス他同日の試合日には狭いと思う (3)他市県からもっと多く利用してもらうには、パークゴルフ場と駐車場の境の植栽等もう少し外観をよくする等(現在は、広くて気持ちがいいとのことです。) (4)冬季利用方法について	(1)現在、氷見運動公園の再整備計画を策定しており、その中で野球場・テニスコート・パークゴルフ場などの再配置などを検討しており、パークゴルフ場の増設については公園全体の優先順位を決め、財源を確保した上で、進めていきたいと考えています。 (2)駐車場についても、氷見運動公園の再整備計画の中で検討してまいります。 (3)駐車場周辺などは植栽等の配置などを工夫し、うるおいのある空間として、景観の配慮にも努めてまいります。 (4)冬期間は芝の休眠期間としているため、冬期間の利用は控えています。	都市計画課 都市計画担当: 浜本 74-8078

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
大雨時の排水処理 今年7月にも大雨警報発令時に「カットインナカヤマ」さんの横から、県道「五十里・氷見線」を結ぶ団地内道路が冠水し、玄関先に達するまでになっていた。(消防本部・警察も出勤、翌日の新聞にも写真入りで掲) ここに住み始めて20年近くになるが、このような現象は3~4年に1度位は発生している。排水経路は不明だが、排水ポンプの設置や遊水池の設置等手法は問わないので、早急に対応してほしい。隣の大浦地区にも同様な地域があるようだが、ポンプや遊水池の設置が行われているように聞く。	今年度の7月豪雨の後、光が丘地域からの排水システムの再調査を行いました。調査の結果、当面の対策として、光が丘地域からの排水路の末端に緊急時には仮設ポンプを配置することにしました。	建設課 治水・治山担当: 梶澤 30-7071
交差点カーブミラーの設置 公民館すぐ隣の三叉路交差点にカーブミラーを設置してもらいたい。	カーブミラーの整備については、市域全体の要望の中から緊急度、重要度の高いものから順に整備を実施しています。 現地を確認したところ、右側の視認性が悪いことから、設置を検討していきます。	建設課 道の管理担当: 河端 30-7070

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
自治会等役員のなり手不足解消のための要望について。 解決策達成のための市の支援策 ①職員の退職時に、「退職後のライフプラン研修」のようなものがあると思いますが、そのカリキュラムに老後の生きがいの一つとして、「地域活動の参加と協力」の研修項目に入れ市として後押しする。 ②研修の中に、地域の自治会等総会に積極的に参加するよう指導要請する。 ③毎年、職員名簿を市から当該自治振興委員へ本人の了解のもと送付する。	①②よりよい地域づくりに対する職員すべての意識改革が必要と考えています。職員自らも地域社会の一員であることを認識し、地域活動に理解を深め、できる限り地域活動に参加するよう努める必要があります。市としては、職員に対し、必要な学習の機会を提供するとともに、休暇制度の活用などにより地域活動へ参加及び協力を行うよう啓発に努めます。 ③本人の了解が得られれば、当該地区在住の職員について、お知らせすることは可能です。総務課まで、ご連絡ください。	総務課 人事・人材評価 担当：森 74-8031

要望内容	回答等	担当課及び 担当者
新文化施設建設の早期着工要望について 多くの市民から、新文化施設を早く作ってほしいとの要望があがっている。 昨年までの有識者会議及び市民会議を5回開催し、建設基本計画を本年2月に発表したところです。 新市長になって、最適な場所かどうか懸念があるとして、基本計画をゼロベースで再検討したいと発表されましたが、結局、建設地は、「市街地グランドデザイン検討委員」で見直した結果昨年6月に議会特別委員会で承認された場所と同じ旧市民病院跡地に発表されました。 市長は、行政に対し、スピード感を持って「決める政治」というのが一つの信条だと思っています。新計画案がまとまるのが来年の2月と聞いていますが、前計画と比較して喫緊の課題と言いながらも約1年の遅れが生じました。 この遅れに対し、今までの厳しい姿勢でチェック機能を発揮していた議会からの意見が聞こえてきません。また、昨年この建設計画に携わった市民会議メンバーへの説明責任はどうなったのでしょうか。 経費面では、当初基本計画で、事業費が20億～30億となっていました。今回は40億とも聞いています。すべてをゼロベースで見直すのではなく、前に議論し結論を得たことを尊重し、2度手間のないやり方で遅れを取り戻し、少なくとも、平成32年度末までの完成をめざして着工していただきたいものです。 最後に、建設費、維持費は、キッチリとした収入計画をたて、氷見市として「身の丈にあった施設」となるよう希望いたします。よろしくおねがいいたします。	本年7月に市民の代表や学識経験者で組織する「市街地グランドデザイン検討委員会」を設置し、JR氷見線からひみ番屋街までの市街地のグランドデザインを描き、まちの活性化や観光誘客、防災、文化発信などの観点から、旧市民病院跡地などの4つの公共空地の利活用方針を今年度中に決定することとしています。そうした中、9月20日に開催した第2回市街地グランドデザイン委員会において、旧市民病院跡地で新文化施設を整備する方向性が決まったことから、施設の規模や機能、建設手法等を検討してまいります。 その中では、昨年まで市民会議で議論された内容を含め、寄せられたご意見を参考にしながら策定することとしており、必要な根拠を明確にして、進めたいと考えています。 第2回市街地グランドデザイン検討委員会では、仮に700席の場合として他の文化施設を参考に試算したものであり、今回建設の方向性が決定したことにより、建設費や維持費につきましても、想定事業費ありきではなく、しっかりと収支を見極め効率的な整備計画を策定してまいります。 多くの市民の方々から早期の新文化施設整備のご要望をいただいております。できる限り早期の整備を目指して取り組んでまいりますのでご理解をいただきますようお願いいたします。	芸術文化振興 室：平田 74-8215